



請

实用新案登録願(1)

特許庁長官 熊谷善二 殿 昭和52年10月21日

1. 考案の名称

キャスター収納式スーツケース

2. 考案者

住所

} 実用新案登録出願人に同じ
氏名

地名



3. 実用新案登録出願人

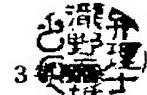
住所(居所)

千葉県鎌ヶ谷市道野辺325の1番地
鎌ヶ谷グリーンハイツ36の302

氏名(名称)

上条勝巳

代表者



4. 代理人 住所 東京都千代田区内幸町2-1-1(飯野ビル) T100

電話東京(502)3171(代表)

氏名(6069) 弁理士 龍秀雄



5. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) 委任状 | 1 通 |
| (5) 出願審査請求書 | 1 通 |

方式審査

52 140801 54-69104

明細書

1. 考案の名称

キャスター収納式スーツケース

2. 実用新案登録請求の範囲

必要に応じて露出させて固定自在となり、不必要時に収納自在となる適宜数個のキャスターをケース本体の底部に設けたことを特徴とするキャスター収納式スーツケース。

3. 考案の詳細な説明

本考案はキャスター収納式スーツケースに関する。

従来、例えば海外旅行等、長期に亘つて旅行をする際に持ち運びする大型のスーツケースにはその持ち運びが便なるようするためにその底部の四隅個所にキャスターを固定したものが

特許
公報

あつた。ところが航空機、車両等に搭載して運送する等の荷物扱いの際に、キャスターが破損したり紛失したりすることがあつた。

又、ケース本体から外部にキャスターが露出しているのでは外観上も不体裁であるばかりでなく、取扱いにも邪魔となりがちであつた。

本考案は上述の如き点に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、スーツケースを移動する等の必要時には簡単な取扱いでケース本体の底部からキャスターを露出させて固定することにより持ち運びに便なるようにし、又不要時には前記底部に凹設した収納凹部内にキャスターを収納して破損や紛失を防止すると共にキャスターがケース本体の底部に露出する等の外観上の不体裁を一掃し、しかも邪魔となら

ないようとしたキャスター収納式スーツケース
を提供するにある。

以下、本考案を一実施例につき添附図面に従つて説明すると、1はケース本体、2はケース本体1の底部1aの適宜個所、例えば四隅個所に設けたセット凹部、3は該セット凹部2に隣接してそれよりも深く凹設した収納凹部である。4はキャスターで、このキャスター4は前記セット凹部2と収納凹部3との境界箇所に蝶番5にて枢動自在に枢着した取付基板6に固着されている。7は鏡体で、この鏡体7の鏡杆7aは前記セット凹部2と、収納凹部3との側壁2▲、3▲にそれぞれ設けた鍵穴9、10内に嵌脱自在となつてロックされる。11はキャスター4が収納凹部3内に収納された場合に、直接底部

特
許
公
開
申
請
書

1a が床面 1, 2 等に触れるのを防止するための
脚部である。

本考案の一実施例の詳細は上述の如き構成か
らなるものであるから、不必要時には第 2 図の
想像線で示したように、キャスター 4 は収納凹
部 3 内に収納されていると共に鏡体 7 の鏡杆
7a が収納凹部 3 の側壁 3A の鍵穴 10 内に嵌
入して閉鏡することにより取付基板 6 は収納凹
部 3 を閉止している。従つて、収納凹部 3 内に
はゴミ等が侵入するのを防止すると共にキャス
ター 4 が荷物取扱中に破損したり紛失すること
が防止され、しかもケース本体 1 の底部 1a か
ら露出する等の外観上の不体裁が一掃できる。

他面、ケース本体 1 を移動する場合等の必要
時には鍵（図示せず）を鏡体 7 の鏡穴内に挿入



して回動することにより、錠杆 7 a をセット凹部 2 の側壁 2 ▲に設けた鍵穴 7 a 内から脱嵌して開錠した後、収納凹部 3 を閉じている取付基板 6 を蝶番 5 を介して枢動すると共に反転してセット凹部 2 に当接する。

そして、錠体 7 の前とは反対面の鍵穴内に鍵を挿入して回動することにより、錠杆 7 a をセット凹部 2 の側壁 2 ▲に設けられた鍵穴 9 内に嵌合してロックさせる。之により、キャスター 4 はセット凹部 2 に固定して底部 1 a から露出し、使用の途に供する。

本考案は上述の如くスーツケースを移動する等の必要時には簡単な取扱いでケース本体の底部からキャスターを露出させて固定することにより持ち運びに便なるようにし、又不必要時に

は前記底部に凹設した収納凹部内にキャスターを収納して破損や紛失を防止できると共にキャスターがケース本体の底部に露出する等の外観上の不体裁が一掃でき、しかも邪魔とならない等の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案のキャスター収納式スーツケースの一実施例を示す斜面図、第2図は同上の要部

を示す断面図である。

1 …… ケース本体

1a …… 底 部

2 …… セット凹部

3 …… 収納凹部

4 …… キャスター

5 …… 軸 管



6 ……取付基板

7 ……鍵 体

7 a ……鍵 杆

9 , 1 0 ……鍵 穴

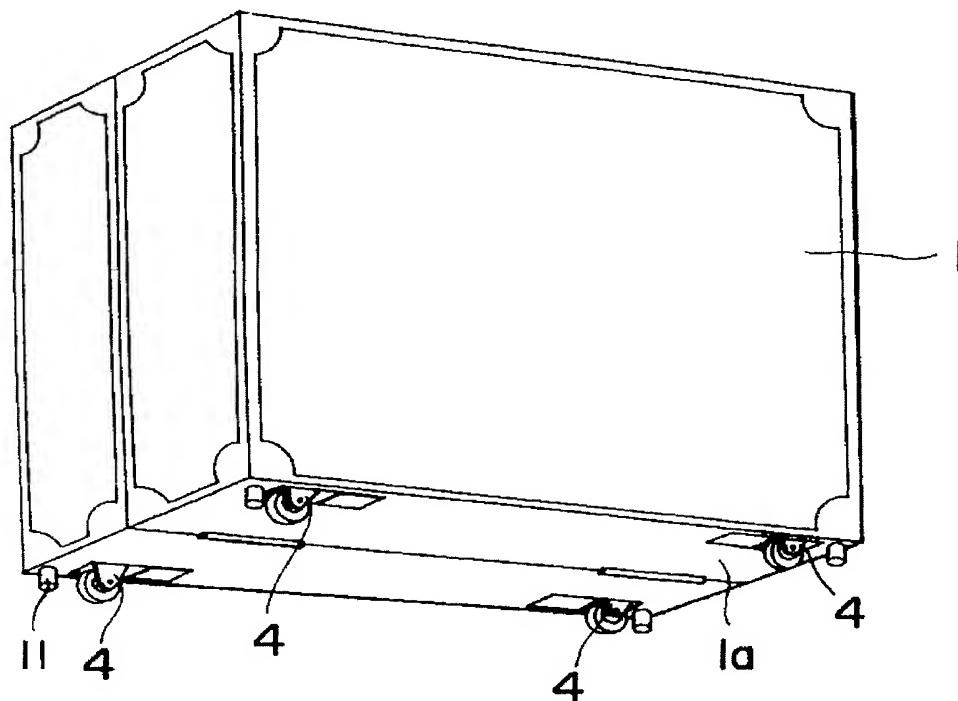
実用新案登録
出願人 上条勝巳

代理人 濱野秀雄

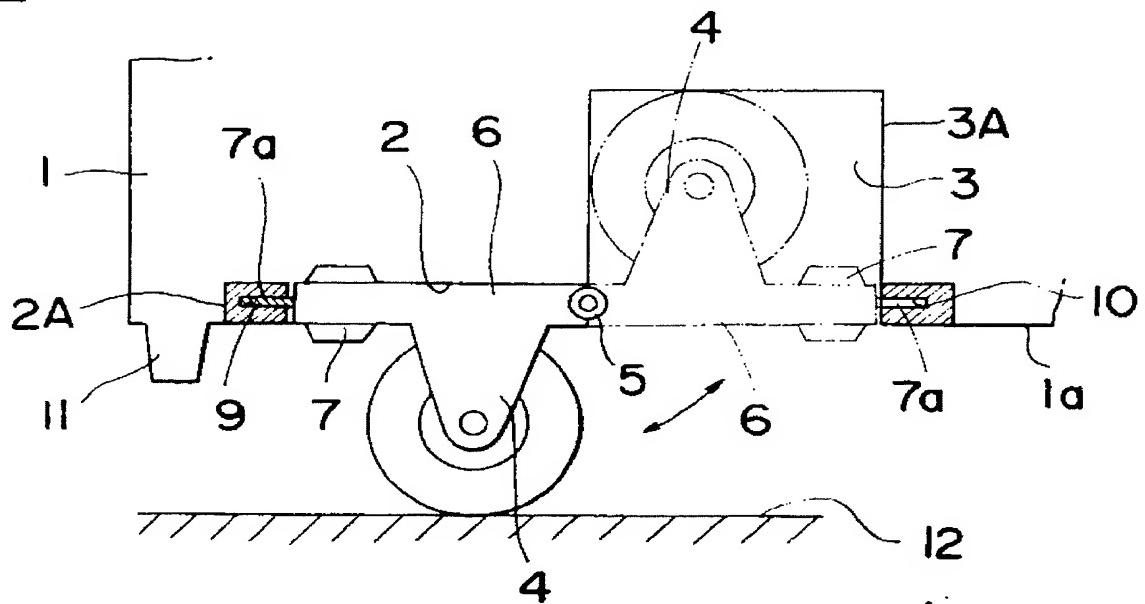


49327

第 一



第 2 



67104

寒用新案登録出願人

代 理

已勝条上　雄秀野瀧人理代　頼出新案用実